社会医療法人社団 埼玉巨樹の会　明生リハビリテーション病院 季刊誌

スマイル

2025 Vol. 57

Smile with your heart

園芸活動

きんぎょつり

わなげ

演奏会

Contents

P2　事務長あいさつ／医療連携会
P3　園芸活動／夏祭り・演奏会／栄養科行事食
P4　むすびプロジェクト
　　ホームページのご案内

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
明生リハビリテーション病院

事務長あいさつ

明生リハビリテーション病院
事務長

原　和宏

趣味：登山、ツーリング

令和７年７月16日付で明生リハビリテーション病院の事務長を拝命しました。
福岡県生まれで福岡県北九州市の病院に入職し、福岡県行橋市、佐賀県武雄市、埼玉県所沢市、千葉県千葉市、栃木県河内郡上三川町、栃木県宇都宮市とグループの病院を転勤し、当院で８つ目の病院になります。
当院には８年前に努めていましたので久しぶりの所沢市ということになりますが、所沢駅の周辺は大きく発展し、街の様相がずいぶん変わったような印象を受けました。
さて、私の役割としましては、病院に入院される患者の皆様が、快適な入院生活を送れる環境を提供すること、また、それを支える職員が気持ちよく働けるよう職場を整えることが主な仕事だと思っています。
地域の皆様に必要と思って頂けるような病院づくりに少しでも貢献できるよう努めてまいります。

医療連携会

令和７年９月18日（木）、第８回関東カマチグループ医療連携会（東京・埼玉地区）を帝国ホテルにて開催いたしました。第１部では、当グループの実績報告と「摂食嚥下障害に対する取り組み」について、言語聴覚士と管理栄養士の立場から報告がありました。
第２部の懇親会では当院職員の司会の元、来賓の皆様からご挨拶・乾杯のご発声をいただき、盛大かつ華やかな会が催されました。内外合わせると総勢約900名のご参加をいただき、いかに当グループが大勢の皆様に支えられているかを目の当たりにし、その規模にただただ圧倒されました。来賓の皆様から暖かいお言葉をいただくとともに、当院に対する大きな期待を感じ、より一層応えていかなければならないと身の引き締まる思いです。普段電話の声しか聞いたことのない方々と、実際にお顔を合わせて楽しい時間を共有できたことで、顔の見える関係を深められたと感じました。今後も多職種連携、チーム医療を推進し、「明生でよかった」と皆様に満足していただけるリハビリテーション医療を提供してまいります。

医療連携室　B・H

園芸活動

令和７年７月10日、リハビリスタッフと患者様で園芸活動を行いました。今回は夏の花であるマリーゴールドとケイトウを植え、皆さまが協力しながら土に触れるひとときを過ごしました。花を植える作業は手指や体を動かすリハビリの一環だけでなく、参加した患者様の表情も自然と明るくなり、会話も弾む温かい時間となりました。今後も季節を感じられる活動を通じて、心身の健康づくりを支援して参ります。　　リハ科 K・K

夏祭り・演奏会

令和７年８月７日に夏祭りを行い、射的、輪投げ、金魚掬いなど懐かしい遊びを楽しみ、子供の頃を思い出しました。普段真剣にリハビリに取り組む姿とは異なり患者様の遊び心や満面の笑みを見ることができ、スタッフ一同心が和みました。
楽器の演奏会では院内に響く音色が会場を包み込み、患者様、スタッフが一体となって楽しんでいる光景が印象的でした。気持ちがリフレッシュでき、心に残る夏祭りとなりました。　　リハ科　W・S

行事食

7月　テーマ：夏のお楽しみ御膳

献立
- サラダうどん
- うざく
- 五目卵焼き
- 桃のデザート

サラダうどんや鰻といった、夏らしい食材と内容で良かった。全体的に色合いも良く仕上がり、まとまりのある見た目となった。
酸味・甘味・うま味と味に変化があり、飽きのこない味付けとなったと思う。

8月　テーマ：夏の夕涼み御膳

献立
- 冷やし中華
- ズッキーニと豚の生姜炒め
- ぶどうの２層ゼリー

冷やし中華は色合いが良く、見た目が華やかに仕上がった。盛り付けの際、色合いが重ならないよう工夫した。
夕涼み御膳に相応しい内容となったと思う。

9月　テーマ：敬老の日御膳

献立
- さつまいも赤飯　・けんちん汁
- 天ぷら（海老、キス、茄子、大葉）
- かぶの浅漬け
- 練り切り

長寿の象徴とされる海老を使った天ぷらで、敬老の日を祝いました。
秋の訪れも感じていただけるよう根菜類を使用し温かみのある献立にしました。
これから迎える冬に向けて、皆様の健康をサポートする行事食となりました。

むすび プロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

第22回 関東KG学術大会 むすびプロジェクト活動の報告

令和7年2月22日（土）に第22回関東KG学術大会が八千代リハビリテーション学院で開催されました。関東KG学術大会とはカマチグループに所属する関東地域の各病院が研究成果を発表する場です。今回のテーマは「生活期の患者支援について」でした。一般演題として17件、学術顕彰として5件の発表が行われました。学術大会の中で八千代リハビリテーション病院・理学療法士河合大介と原宿リハビリテーション病院・看護師黒木博文が「LINE」「復職・就労支援」「心の交流会」を中心としたむすびプロジェクト活動報告を行いました。

多くのスタッフにむすびの活動内容を広く知っていただく良い機会になり報告後は活動に対して賛同する意見もいただきました。大会総括として座長のリハビリテーション関東統括本部長稲川利光先生が生活期の患者支援についての大切さを話されました。この学術大会で得た学びを活かし退院支援の質の向上に取り組んでまいります。

▲黒木博文看護師（左）・河合大介理学療法士（右）

▲むすびプロジェクトメンバーで集合写真

ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

明生リハビリテーション病院　検索

https://meisei-reha.jp/

FB https://www.facebook.com/meiseireha/

インスタ https://www.instagram.com/meiseireha/

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

明生リハビリテーション病院

■[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車
徒歩 15 分

■車でお越しの際は、時間に余裕をもって
ご来院ください

◎ お問い合わせ

〒359-1106
埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2681-2
TEL 04-2929-2220
FAX 04-2939-2136

理念
手には技術
頭には知識
患者様には愛を

基本方針

❶高度医療
学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

❷総合医療
患者様と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

❸地域医療
地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。